

BUTTERFLY EFFECT ZERO



R18
ADULT ONLY
成人向け作品につき
18歳未満閲覧禁止

待て
今、怒りにまかせて
剣を振ろうと
しただろう



『BUTTERFLY EFFECT ZERO』

発行者：とすとすFスキー
発行日：2023年5月6日
印刷所：サングループ様
連絡先：noirowze@gmail.com

- ・この漫画の著作権はとすとすFスキーにあります。
- ・この漫画を著作者の許可なくインターネット上にアップロードはする行為は犯罪です。(著作権法23条)
- ・10年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金、またはその両方が同時に科せられます。(著作権法第119条第1項)

WARNING:

The producer of this WORK(Book and Do-Jinshi) has not permitted following,

- ・Reproduction of this WORK.
- ・Making of all of means of copies of this WORK.
- ・Resale of this WORK.
- ・This WORK is done in the scanning and upload to the Wired network (The Wired network includes SNS・P2P and etc.).

The producer of this WORK prohibits sharing the WORK by the Wired network and the resale.



深い山奥の
熱帯雨林に囲まれた
その村には

村独自の宗教を信仰し
薬学と呪術に長けた
獣人の民族が
多くの集落を形成して
暮らしていた

その昔、
森から現れた粘性の怪物
通称「アメーバ」の集団が
村を襲撃
多くの村民が犠牲となった

討伐隊員
クリス

それから村人たちは、
彼らのなかでも戦闘能力の高い
者たちが討伐隊を結成し
村周辺の警護とアメーバの討伐に
従事するようになった。

悲鳴が聞こえたのは
このあたり…
微かに
匂いも残っている

…茂みの向こう
近くにいる！



少し小柄だが
おそらく成体だな

次の犠牲者が
出る前に
始末しておかなければ

アメーバとの
意思疎通は不可能
人や家畜・作物など
捕食対象は様々

粘性の体は
攻撃を受けても
瞬時に再生する
飲み込まれると
逃れるのは非常に困難



そのため
貫通特性を付与した刃物で
弱点である核を破壊することが

唯一の討伐方法である



…だが本当に
コイツが人を襲ったのか？

喰った直後なら
血肉の匂いが強く
するものだが…

気配は無いが
他の個体が潜んでいる
かもしれん
ズーマ、何か匂うか？

…つと、
アイツは今日
いないんだっとな

待ってよクリス
オレも行く！

ペレから聞いたぞ！
女王個体が
出たかもって！

昨日も隊員が
行方不明に
なったんだろ？！

薬で嗅覚も
戻ってきたし、
役に立ってるって！

クリスだけ1人で
討伐行くなんて
危険すぎるよ！

ズーマ…

仕方ないだろう
隊員はどれも
人手が足りないんだ

それに発情期は
薬じゃ完全には
抑えられない

微熱や動悸も
まだあるんだろ？

……ッ!!



俺たち獣人族は
発情すると
感覚が麻痺して
放つ匂いも濃くなる

アメーバ共の
格好の餌食だ

それに普段より
体温が高いせいで

襲われたら
間違いない卵を
産み付けられて
苗床にされる

ただ喰われるより
よっぽど過酷で
惨たらしい死に方だ

そんなこと
ズーマだって
よく知っている
はずだろう？

もちろん
クリスが1人で
討伐に行くのが
心配だからだよ

……でも
それだけじゃない

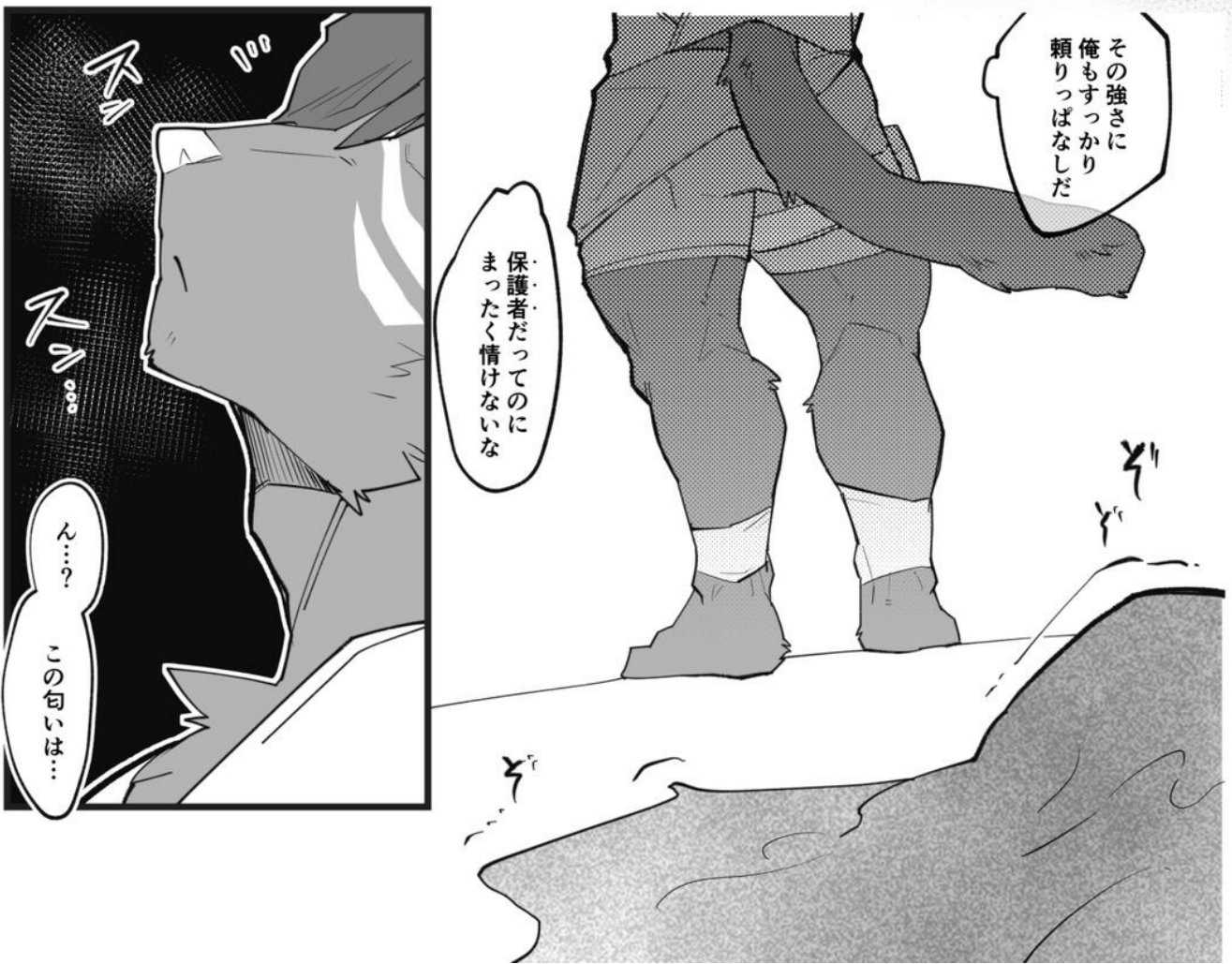
オレは力が弱くて
投擲ができないし、
討伐数だって
一人前になるためには
全然足りてない

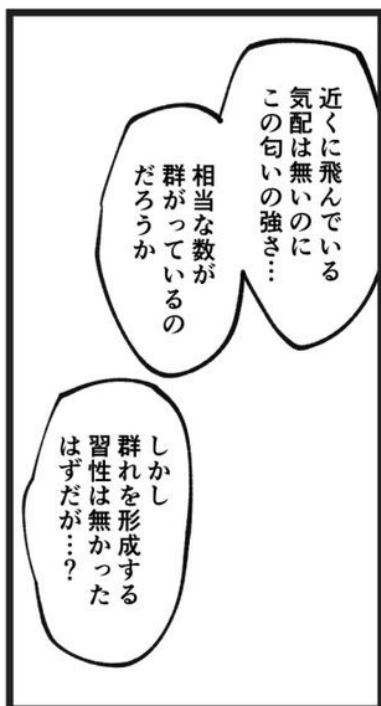
それなのに
発情期で頻繁に
討伐を休んでたら
いつまでも
強くなれないよ！

もう成人なんだから
早く正式な隊員に
認められて
独り立ちしなきゃ
いけないのに……



そんなに必死になるのは
何か理由があるのか？







蝶の匂いがある方へ
引き摺られている…!!

呑み込まれて
卵を植え付けられるはずだが
そのどちらでもない

何かに掴まって
抜け出すしか……

……ッ!!



まずい……

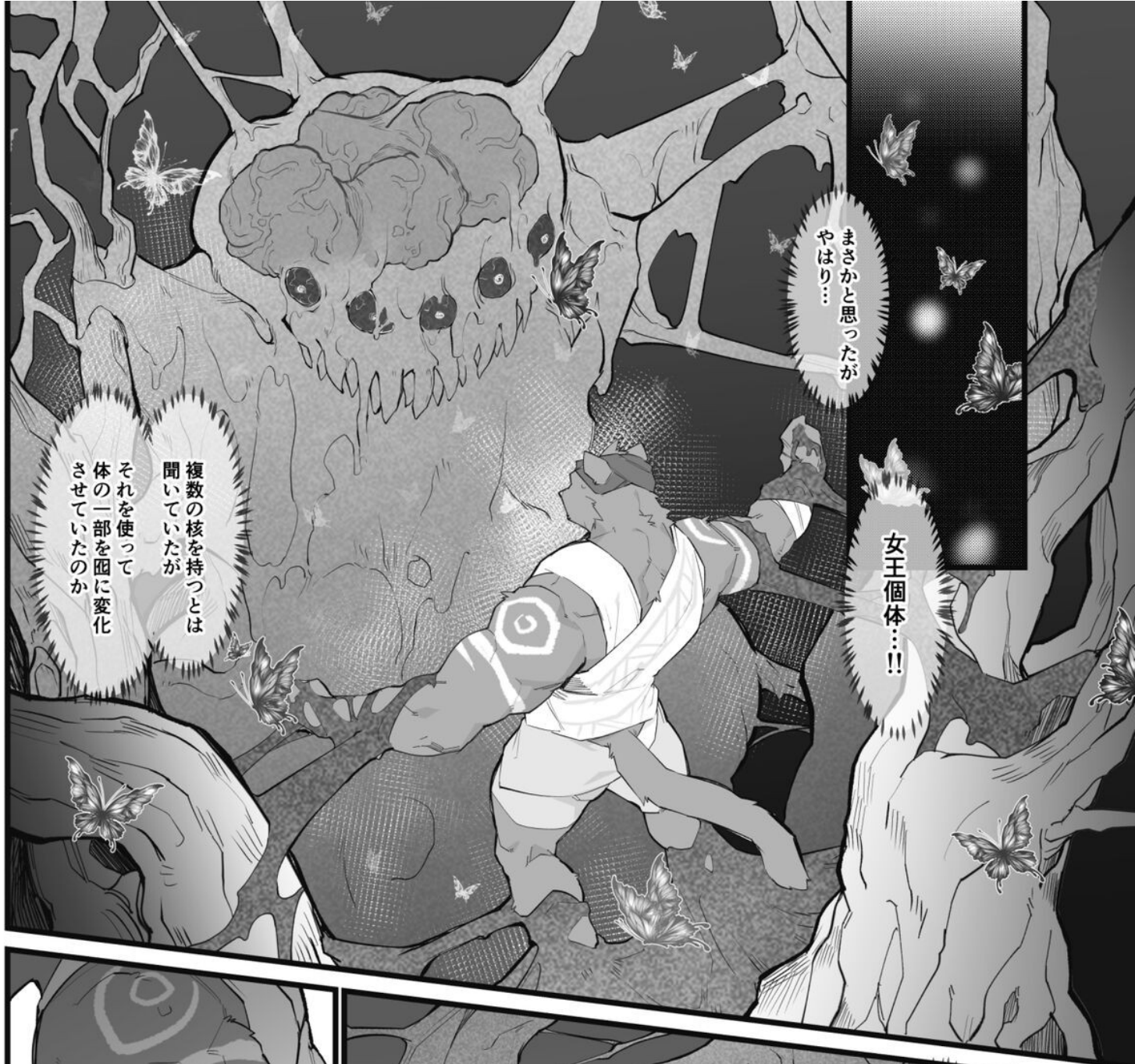
手足が
動かせない……!!



何故だ!?
核を破壊されて
動ける個体が
いるのか!?

うらやま……!!

離せ……!!



まさかと思ったが
やはり…

女王個体…!!

複数の核を持つとは
聞いていたが
それを使って
体の一部を固に変化
させていたのか



つまり
この異常な数の
幻惑の蝶は…



弱い生物は捕食し

強い生物を捕獲して
苗床にするための…!!



発情させること
コレが
目的か!!

はあ
ま

はあ

ぶるん...

一羽あたりの
毒の量は微弱だが
大量に吸い込むと
強い催淫効果や
思考機能の麻痺
幻覚作用をもたらす
こともある

幻惑の蝶は
鱗粉に甘い香りの毒を持つ



クソッ
頭が、クラクラ
してきた...

やめろ...
脱がすなあ...ッ!!

はあ...



この人なクリス
今まで気づいて
あげられなくて



こんなところで
何してるんだ



ああ、ズーマか

...?
俺は一体
何を...



お、おい
何を……

やめろ……

やめろ……!!

俺はそんなこと
望んでない……!!

クリスはずっと
我慢してたんだよな

でももう大丈夫だよ

オレもクリスじゃない

オレの身も心も
全部クリスにあげる
好きなだけ抱いてほしいよ

わしがして
緊張してる？

んぐっ……

クリスの気持ちのほど
弱いところ
全部知りなさん大

ああっ！
や、やめろズーマ！

大丈夫
オレにまかせて



でないと、も
う……
我慢できねえ……ッ……

う、ぐああ……っ!!



いつばい出たね
飲んでさっ太あ♡

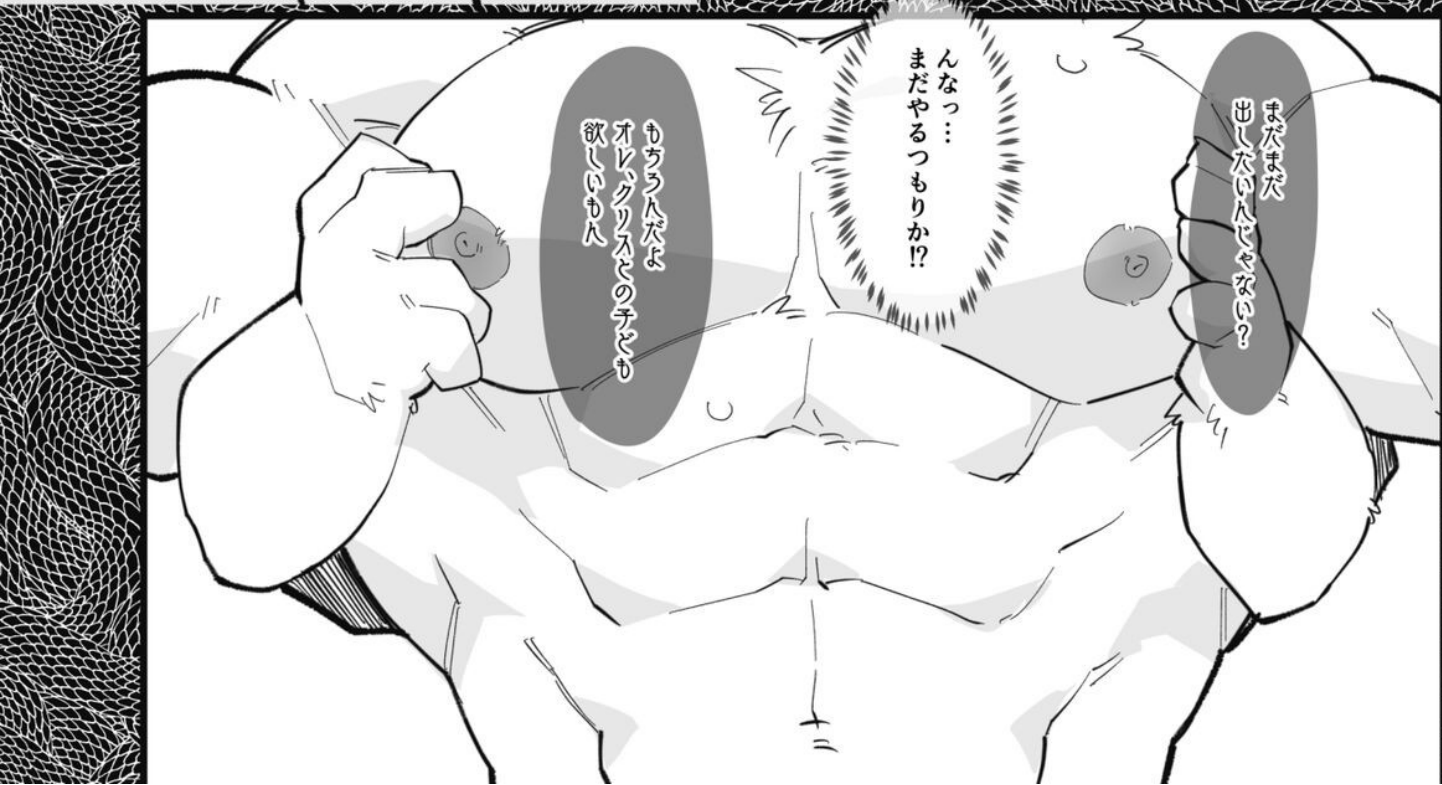


ああっ……
ぐ、があ……っ……!!

ああ! 気持ちいいさ!
もういいから
啜えるのやめろ!

えへへ、
クリス気持ちいい?

失っばから
しよつばい汁が
なくさん出てう
クリスが
寒くてくれて
うれしいな



まだまだ
出し足りないじゃない?

んなっ:
まだやるつもりか!?

もううんだよ
オレクリスとの子ども
欲しいもん

んおおおつ!!

ひゃるる!!

ッはああ…っ

あッ…あああ…♡

とく

チンポとケツ
両方気持ちよくて

ジュポ

♡♡♡

またイク…ッ
精液出るぞおッ!!

うあーっ…

ああ…ッ…

はー♡

はー♡

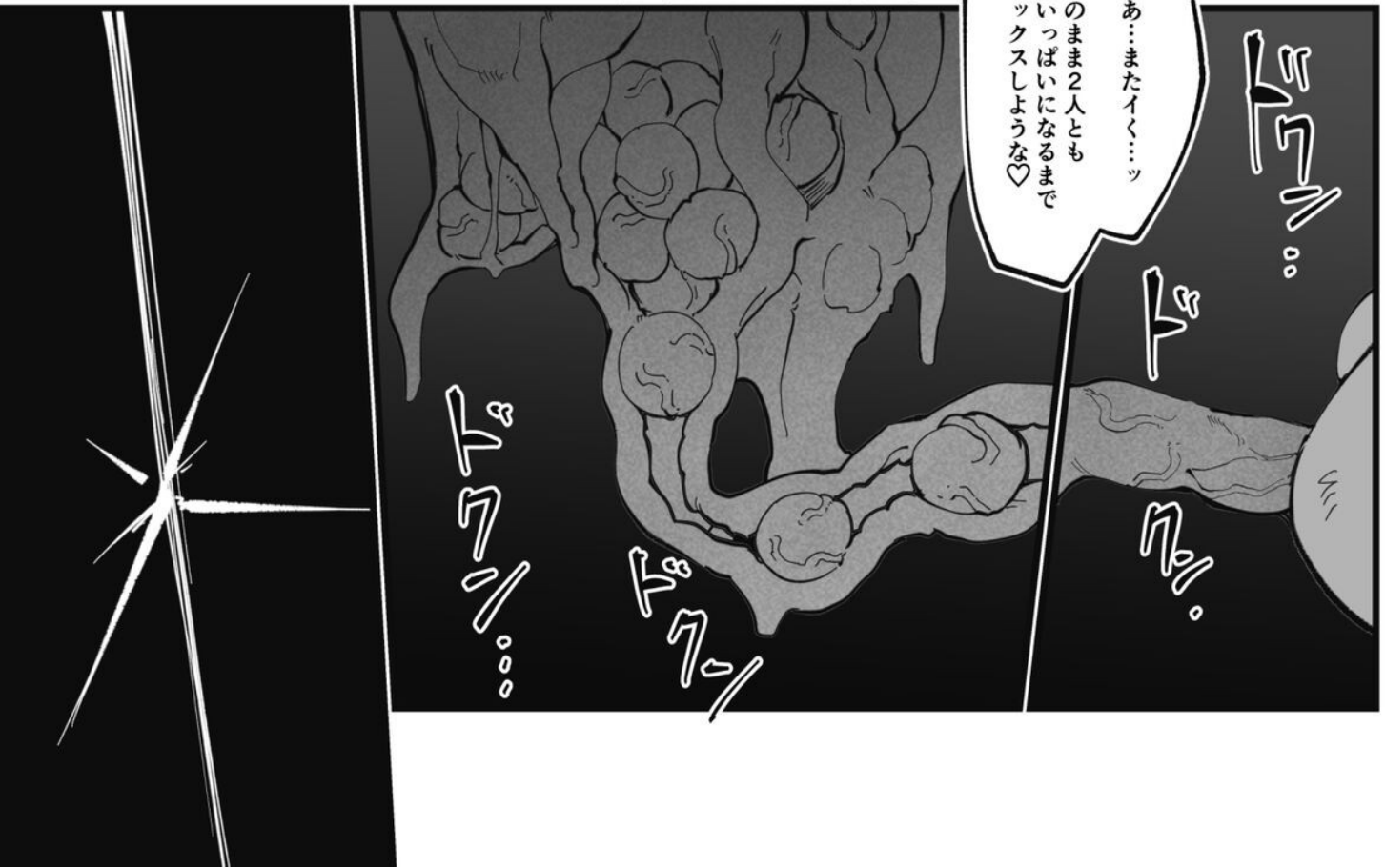
ブーマああ…♡

ああ…
気持ちいいぞ
ブーマ…

おお、そうか…
いいぞ…
ズーマの精液
たっぷり出してくれ



ああ…またいく…ッ
このまま2人とも
腹いっぱいになるまで
セックスしような♡







ああ…
ズーマの匂い
ズーマの感触

柔らかくて
温かい

大丈夫か!?
危ないところ
だった…



あれって
女王個体だよな…
あちこちから
核の匂いがする!
あんなの
どうやって倒せば
いいんだよ!!

……
こんな時に
何考えてんだ
俺は

うわああ!!
メチャクチャ
こつち見てる

どうしよう
どうしよう!!

今はこの状況を
どうにかしなければ



倒すのは無理だ
撤退するぞ

発煙玉あるか?

う、うん!





…ッ!!



大丈夫か!?

薬の効き目が
切れてきたか…

本部に着いたら
癒者に診てもらおう



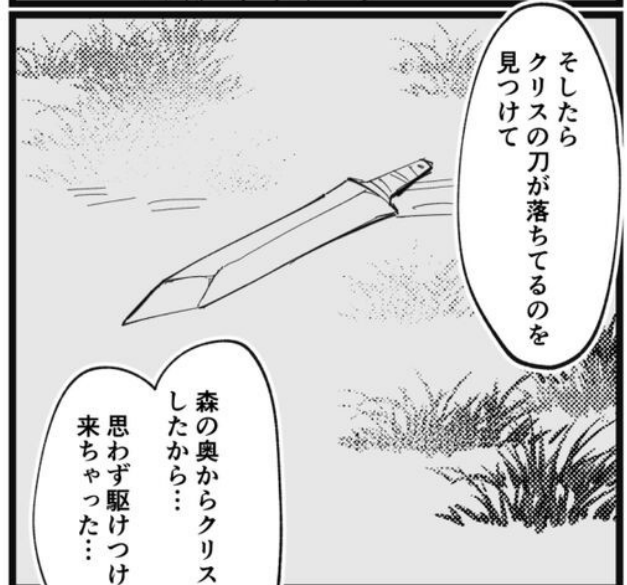
そうだ
礼がまだだったな
ありがとう。
ズーマのおかげで
助かったよ

よくあの場所が
分かったな

…匂いがしたんだ



あの後、
やっぱりクリスが心配で
オレも討伐に向かったんだ



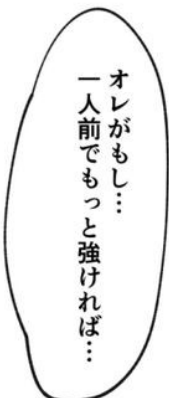
そしたら
クリスの刀が落ちてるのを
見つけて

森の奥からクリスの匂いが
したから…
思わず駆けつけて
来ちゃった…

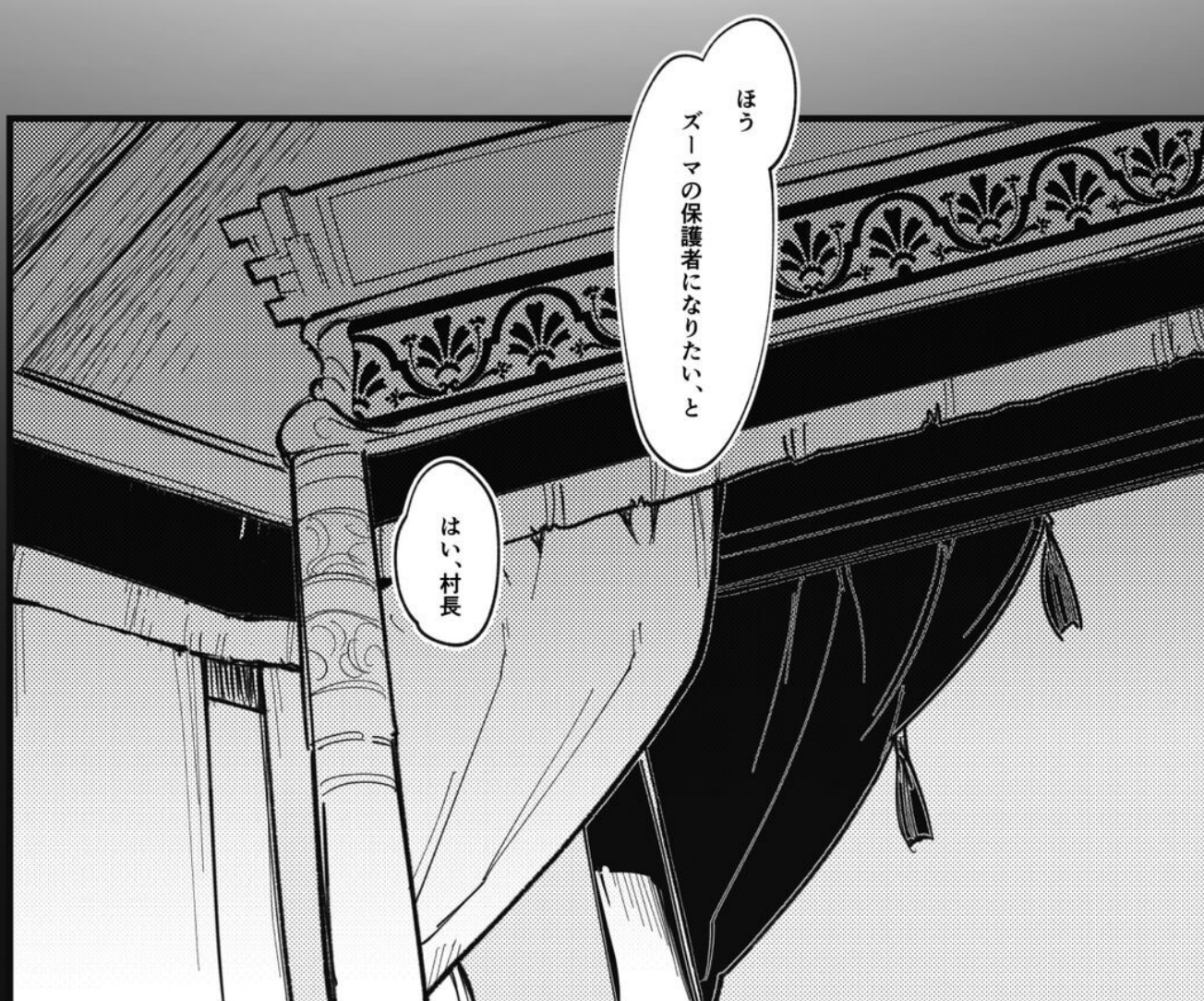
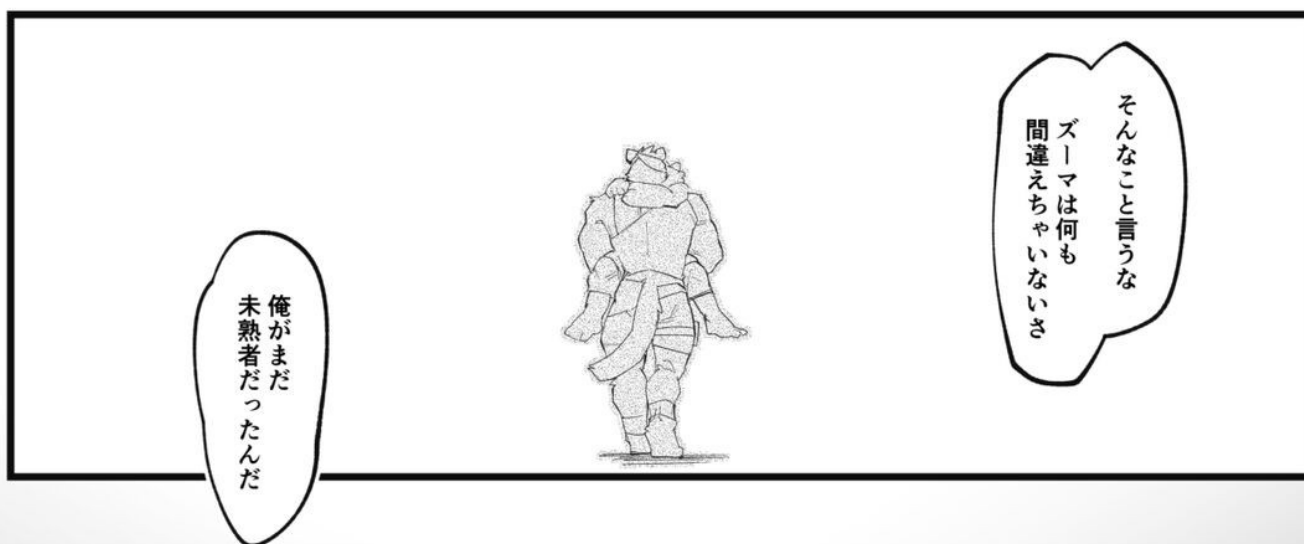


そのとき
オレが本部に知らせて
増援を連れてきたら

あいつを倒せたかも
しれないのに…



オレがもし…
一人前でもっと強ければ…



殺された友人と
生き残った友人の子に
特別な情を抱くのは
自然なことだ。
だが、村の教えを忘れた
わけではあるまいな

成人の二人が子を持ち
愛し合う家庭を築いたならば
守護神より最大の恩寵を賜うん。

いたいよ
ごわいよ

ズーマは村の外れに住む
子の為せない番に
引き取ってもらおうと
話を進めていたのだ

クリスはこれまで
見合いの話を断り続け
今も独り身と聞く
それとも番となる
相手が居るのか？

おとうちゃん
おかあちゃん
おきてよ

神の御加護を
自ら拒否し
一人でズーマを
護り育てる

…ということでは
間違いは無いな？

間違いありません
覚悟ならできています。

俺はズーマが
生まれたときから
彼の両親と付き合いが
あります
身寄りのない俺に
彼らは家族のように
親しくしてくれました



俺の全てを賭けて
ズーマを幸せに
してみせます！

だからどうか

俺にあの子を
護らせてください…!!

し

…よからう。

村長として、
クリスがズーマの
保護者となることを
認めよう

ズーマの為だなんて
詭弁だ

俺はお前を助けることで

あの日、お前の両親を助けられなかった
俺自身が救われたかったんだ

お前はどんどん
強くなるのに

俺はずっと
弱いままだ



続く

